電源の入れ方から文字入力まで

講座テキスト（2回 コース）

参　考　資　料

2011.1 1.1 4更新
楽しくはじめるパソコン教室

１パソコンで出来ること

パソコン（パーソナルコンピューター　個人が使うために作られたコンピューター）を使うと、いろんな事ができて、きっと今まで知らなかった、新しい世界が広がることでしょう。

★仕事

　チラシや新製品の案内書をはじめいろんな書類ができます。

　会計報告や販売実績の分析など計算書類も簡単にできます。

★趣味

　碁や将棋・カラオケ・ゲームなど市販のソフトを使用したり、インターネットを使い

　音楽や映画を楽しむこともできます。

　またデジカメ写真の編集やプリントをすることができます。

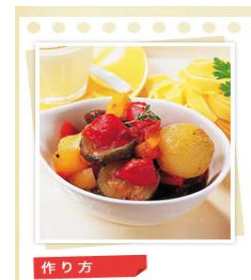
★インターネット

　料理のレシピや各地の天気・電車の時刻表・地図・または

　あなたが知りたいことの、ほぼ１００％を調べることができます。

★電子メール

　携帯電話と同じように、

　お友達や家族の方とメールのやり取りができ、写真を送ることもできます。

楽しくはじめるパソコン教室では、それぞれのソフトの基本の操作の基礎を

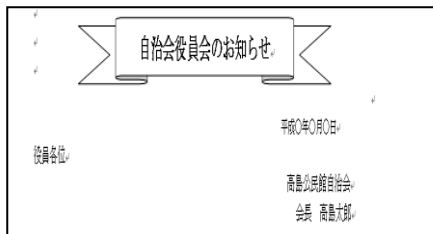
順次勉強することが出来ます。

今回は電源を入れて文字の入力ができるまでを勉強しましょう

自治会役員会のお知らせ

平成○年○月○日

役員各位

高島公民館自治会

会長　高島太郎

○○会　会計報告書

平成20年5月30日

○○会

会長　高島太郎　印

期間　平成19年4月1日～平成20年3月30

金額	項目	支出の部 内容	金額
10,000	会議費	通常会議	10,000
300,000		役員反省会	10,000

秋のハイキングの

来る10月26日（土曜日）に、鬼の城でのハイキン

詳細をご覧の上、ふるってご参

日　程：１０月２６日（土曜日）

目的地：鬼の城ハイキングコース

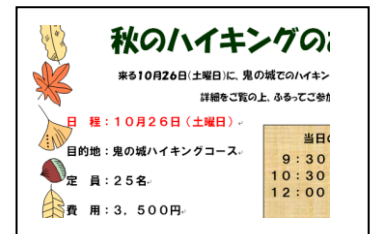
定　員：２５名

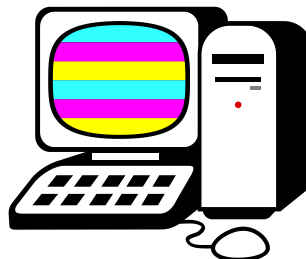
費　用：３，５００円

当日

９：３０

１０：３０

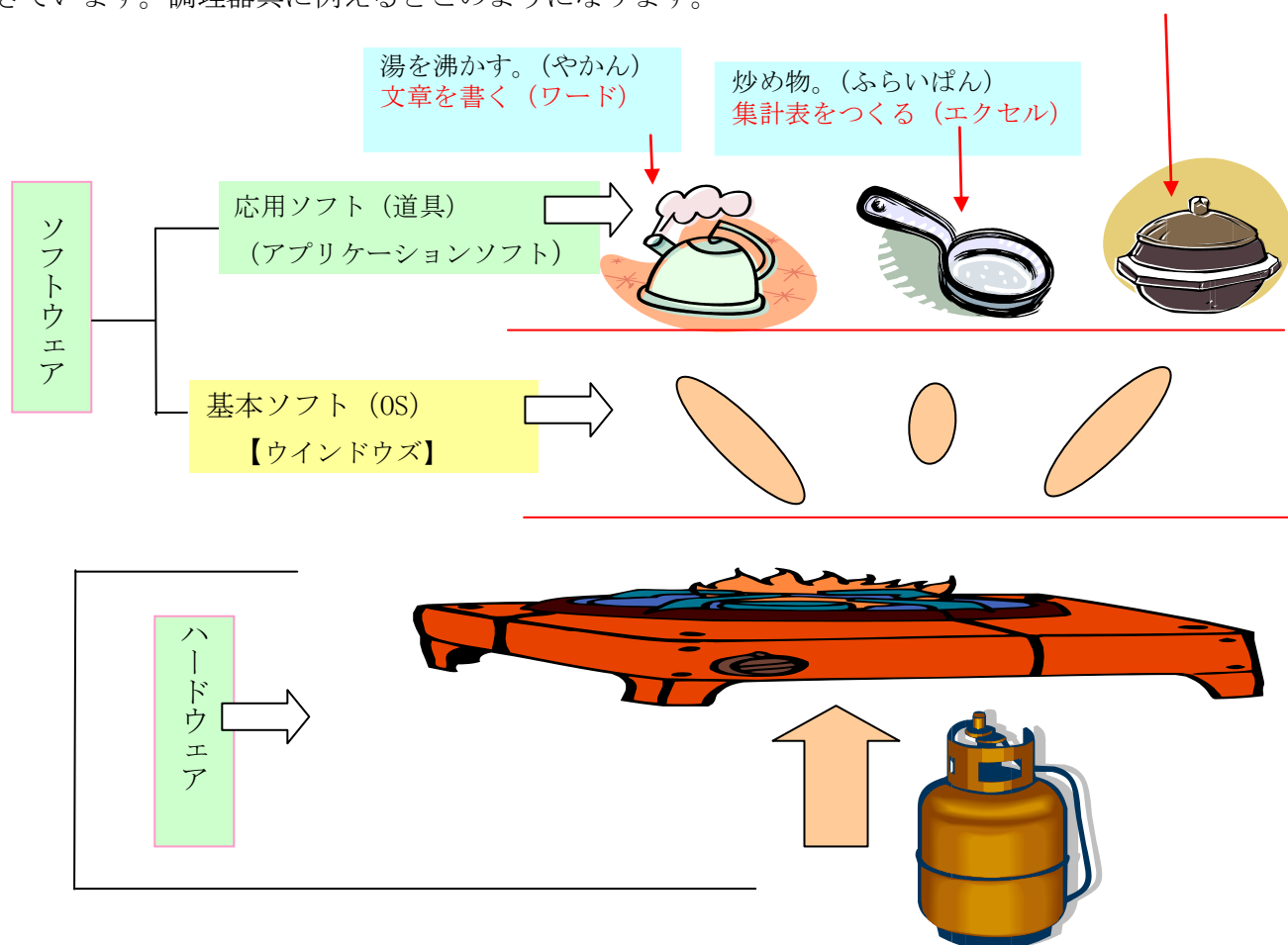
１２：００

２パソコンの種類と基本ソフトとは

ノート型パソコン

デスクトップ型パソコン

基本ソフト（ＯＳ）には
Windows(ウィンドウズ)
　98
　Me
　XP
　Vista
　7
などがあります。
現在発売されているのは
windows7 が主です。
ＯＳ(基本ソフト)については次で、説明します。

３ハードウェアとソフトウェアについて

煮る物。（なべ）
インターネットにつなぐ
（インターネット　エクスプローラー）

パソコンはハードウェアとソフトウェアによって
できています。調理器具に例えるとこのようになります。

★上の表をパソコンに置き換えると、このようになります。

①ガスコンロのつまみを回して　コンロに火を付けます。--->炎が出ます。
　パソコンの電源ボタンを押してパソコンを立ち上げます。--->ウィンドウズ画面が表示されます。

②作る料理により調理器具を選びコンロの上に乗ます。　　　　　中に材料を入れます。
　パソコンの使用目的によりソフトを選び、ソフトを立ち上げます。ソフトを操作します。

ハードウェアは
　　　　　パソコンの機械の部分や周辺機器のことです。（ボンベやコンロの部分）。
ソフトウェアは
　　基本ソフト（ガスの炎の部分）基本の道具　ウィンドウズ＊＊（XP や Vista・７）
　　　　　と呼ばれるＯＳ（Operating System オペレーティングシステム）の
　　　　　ことです。
　　応用ソフト（料理をする道具の部分）通常は単にソフトと言われる。
　　　　またアプリケーションソフトとも呼ばれ、ワードやエクセルなどのことです
　　　　講座で勉強するのは、主にソフトの操作方法です。
　　　　したがってソフトはそれぞれに共通する操作と
　　　　個別の操作があります。そのためソフトごとに勉強することが必要です。

４パソコンを起動しましょう

パソコンを起動する。

（電源を入れてパソコンが使えるようにすることを、パソコンを起動するといいます）

①電源の入れ方

★本体と周辺機器（コンセントやプリンターなど）が正しく接続されていることを確認します。

★フロッピーディスクに、フロッピーがセットされていないこと確認します。

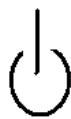
（最近のノート PC にフロッピーディスクはありません。

本体にフロッピーディスクがセットされている場合はパソコンは起動しません）

★周辺機器が接続されている場合はできるだけ、

接続機器の電源を入れて、最後に、パソコンの電源を入れます。

（あまりこだわる必要はありません）

★パソコンの電源ボタンを押します。（スイッチの形は、メーカーによって違います）

電源ボタンには通常
このような刻印があります

★画面にこのようなマークが
表示されている時は、
キーボードやマウスに触らないで
消えるまで少し待ちましょう。

砂時計マーク
ウィンドウズの作業中で
他の操作はできません。消えるまで少し待ちましょう

ウィンドウズの
作業中ですが他の操作は
出来ますが、起動時は消えるまで少し待ちましょう

②パソコンが起動しました

デスクトップ画面が表示されます（デスクトップの背景の画像はいろいろあります）

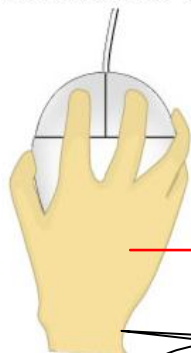
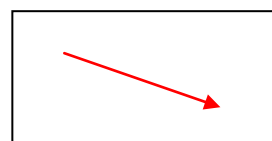
Windows 7

Vista

★パソコンが起動して表示される画面を【デスクトップ】といいます。

デスクトップとは机の上という意味で、机の上に道具（ソフト）や資料を広げて、
操作をするところからつけられた名前です。

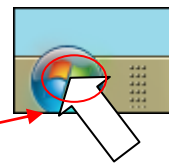
５マウスを動かしてみましょう

★マウスの持ち方と動かし方

※マウスを移動して、マウスポインターを上下左右に動かしましょう。

★マウスの使い方

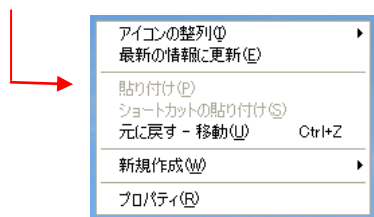
次にそれぞれ練習しましょう。

★クリック（人差し指で左ボタンを一回カチッとします）

☆スタートボタンをクリックしましょう。
①マウスポインターを【スタートボタン】に合わせます。

ポイント
マウスポインターの先が反応します
ボタンの中央に矢印の先を合わせて
クリックするとミスが少なくなります。

②スタートメニューが表示されます。

③もう一度スタートボタンをクリックしましょう。
④スタートメニューが消えます。　　再度練習してみましょう。

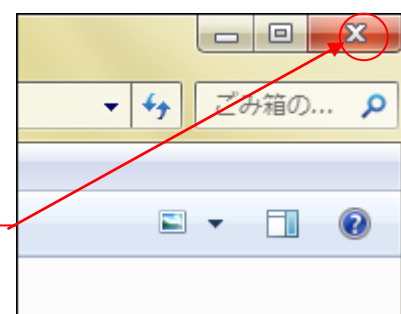
☆画面(デスクトップ)に突然関係のないダイアログボックス（四角い箱のようなもの）
が画面に表示されることがあります。

原因は
間違えて右のボタンをクリックしたためです。
何もないところをクリックすると消えます。

ポイント
クリック時にマウスが動いて目的とは別の場所を、クリックして、うまくいかないことがあります。
クリック時にマウスを見ないで、画面に注目して、軽くカチッと押します。

★ダブルクリック　（人差し指で連続して２回カチカチとします）

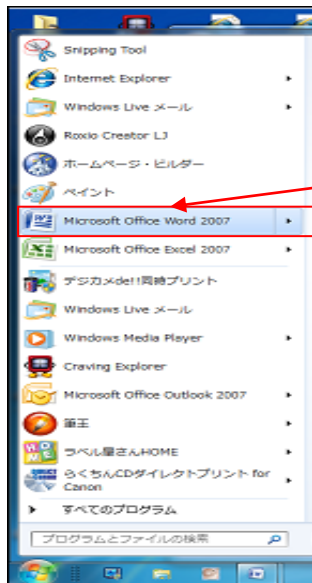
ポイント
２回押す間は
マウスを
動かさないように
しましょう

☆デスクトップにある（ごみ箱）
（不要な書類を入れる入れ物（フォルダー））を
開いてみましょう。
①デスクトップにある【ごみ箱】のアイコンにマウスポインターを合わせ、人差し指で連続して２回カチカチとします。
（アイコン（絵）の中央をカチカチとします）
選ぶ時はクリック、開く時はダブルクリックです

②閉じる【×印】を、
クリックしてごみ箱を閉じましょう。

★ドラッグ
P9 で説明いたします。

６ワードを起動してウインドウの操作を覚えよう

①ワード（文字を入力し文章の編集をするのに便利なソフトの名前です）を起動してみましょう

①スタートボタンをクリックします。

②スタートメニューに表示されている場合はアイコンをクリックします。

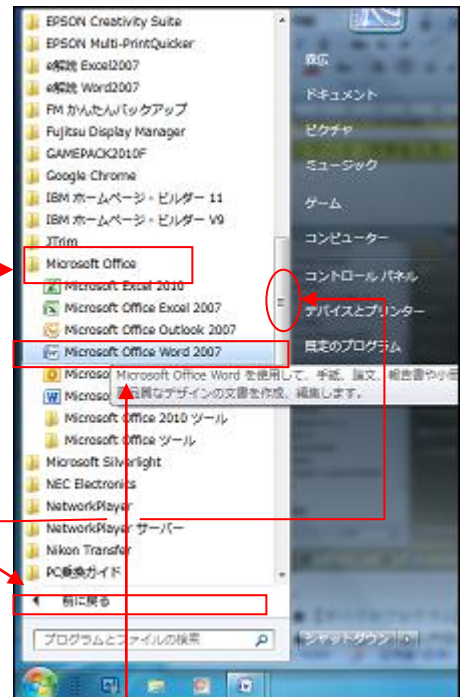
②【すべてのプログラム】にマウスポインターをあわせます

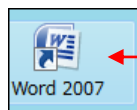
③上にプログラムの内容が表示されます。

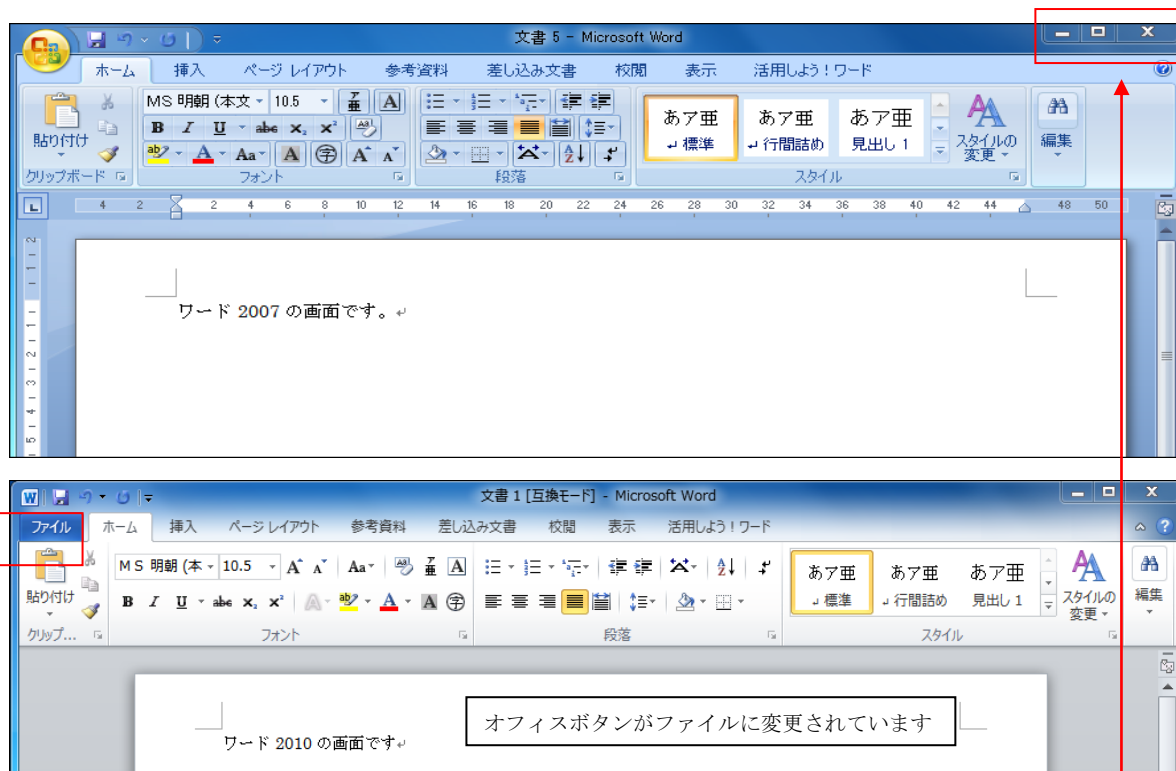
スクロールバーを下にドラッグして、

④Microsoft Office（マイクロソフト　オフィス）をクリックします。

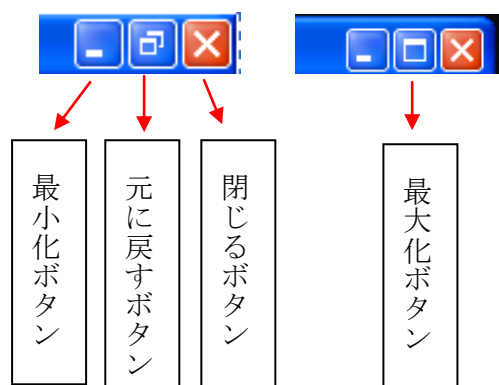
下に表示されるメニューから

⑤Microsoft Word　（ワード）をクリックします。

こちらが便利です

※ワードの次の数字はバージョンの表示です。（発売年度）

※通常は【スタートメニュー】のアイコンをクリックまたは、【デスクトップ】に表示されているショートカットアイコンをダブルクリックしてワードを開きます。

③ワードが起動し【ワード】ウィンドウ（窓）が表示されました。

②ウィンドウの大きさを変更する(1)（ウィンドウズ共通の操作です）

★ウィンドウのサイズの変更（１）

ウィンドウの右上にあるボタンをクリックします。

【最大化ボタン】--->ウィンドウを画面いっぱいに表示します。

（後ろにあるウィンドウは見えなくなります）

【元に戻すボタン】-->画面いっぱいに表示された画面を元の大きさに縮小します。

【最小化ボタン】---->開いているウィンドウをタスクバーに入れてボタンを表示します。

ワードボタンにマウスポインターを合わすと、縮小画面が表示されます。

タスクバーに最小化されたウィンドウは、縮小画面をクリックすると開きます。

最小化しても、ソフトは起動しています。（ソフトを終了したのではありません）

タスクバー--->現在作動中のウィンドウやソフト名が表示されます。

（タスクとは仕事の最少単位のことです。言語バーや時計のアイコンのある場所はタスクトレイです）

【閉じるボタン】--->ウィンドウを閉じたり、ソフトを終了します。

③ウィンドウの大きさを自由に変更したり、ほかの場所に移動する

★ウィンドウのサイズを自由に変更する。

マウスポインターを上下左右や角に合わせるとマウスポインターの形が ←→ に変わります

そのままドラッグします。適当な大きさのところで離します。

縦横幅の変更

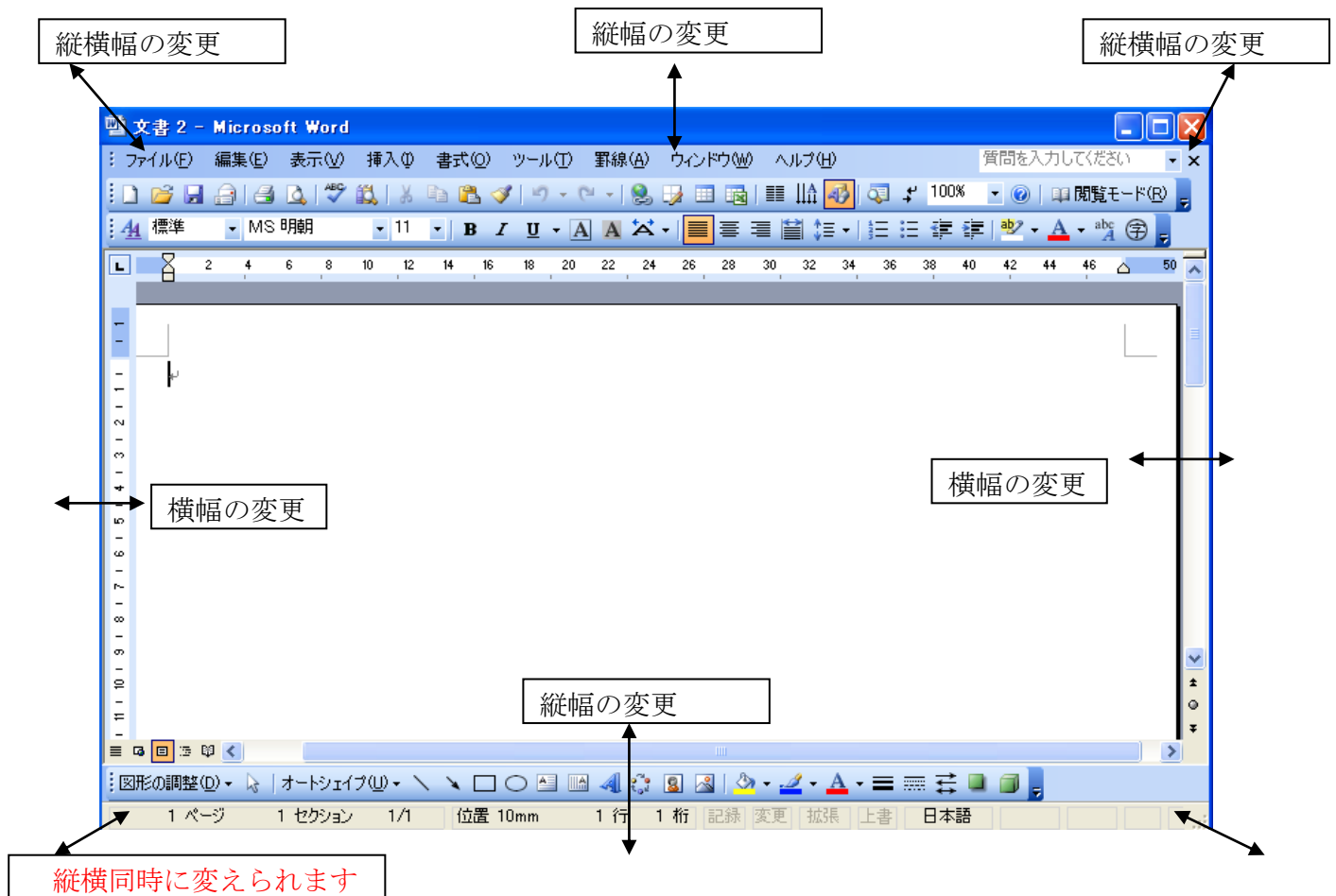
縦幅の変更

縦横幅の変更

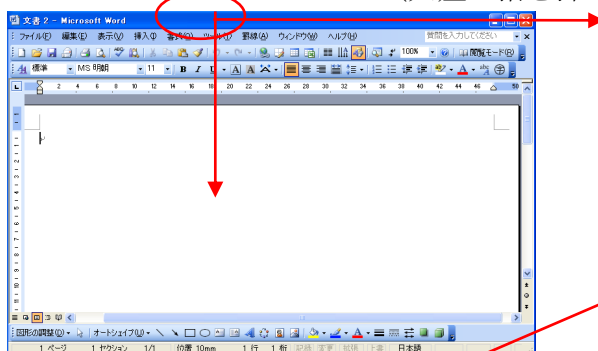
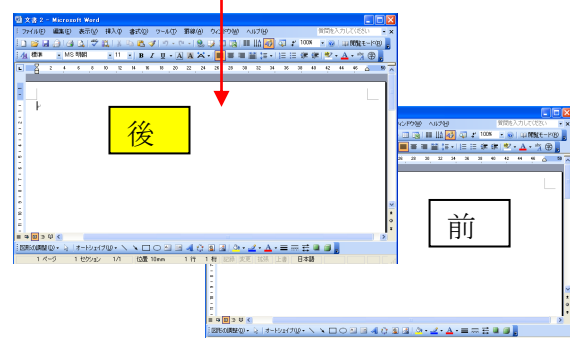
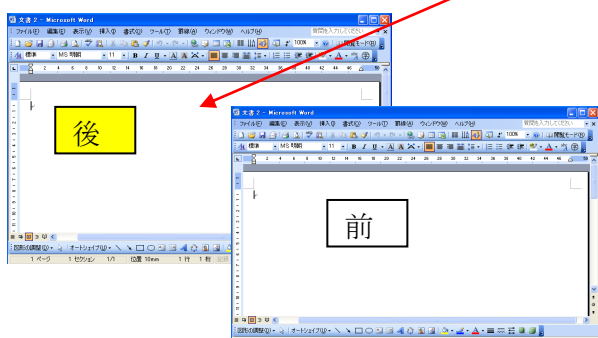
横幅の変更

横幅の変更

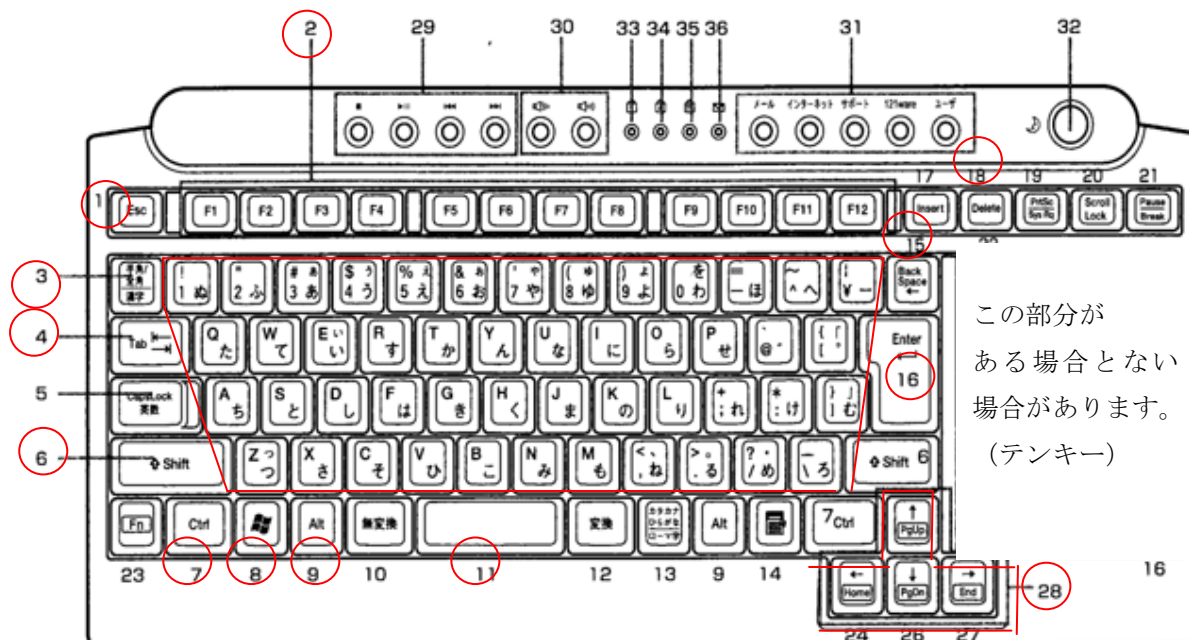
縦幅の変更

縦横同時に変えられます

★ウィンドウを上下左右や前後に移動する。

ブルーのタイトルバーにマウスポインターを合わせて上下左右にドラッグします。

（人差し指を押しながらスルスルと引きずるように移動します）

７ワードで文字の入力を行いましょう

①キーボードの仕組みを覚えよう

キーボードはパソコンに文字を入力するときに使いますが、
その他にもいろんな機能を備えたキーがたくさんあります。メーカーや機種に
より配列は少しずつ異なっている場合があります。
図はデスクトップ型のキーボードです。ノート型の場合は、スペースの関係で
キーの数は省略されていますが文字キーの配列は同一です。

★名前と働き（主なもの、のみです。　詳しくはお使いのパソコン取扱説明書をご覧ください）

□枠　文字キー
文字や記号の入力に使用します。（赤枠内のキーの総称です）

①エスケープキー【ESC】
現在の状況から抜け出したり、前画面に戻ったり、命令をキャンセルしたりします。

②ファンクションキー　F1～F12
カタカナや英字に変換するほか特殊な機能を持ったキーです。

③半角/全角キー
日本語入力のオンとオフを切り替えます。

⑥シフトキー　【SHIFT】⑦コントロールキー【CTRL】 ⑧ウィンドウズキー　⑨オルトキー【ALT】
は、文字キーなど他のキーと組み合わせて使用します。⑧はスタートメニューが表示されます。

⑪スペースキー
文章に空白（スペース）を入力したり、文字を漢字やカタカナに変換します。

⑮バックスペースキー【BACK SPACE】
カーソルの左側の文字または選択した文字を削除します。

⑯エンターキー【ENTER】
入力した文字、変換した文字の確定や、文章の改行。ソフトの起動、メニュー操作の実行に使用。

⑱デリートキー【DEL】
カーソルの右側の文字や選択した文書・アイコン・ファイルなど削除するときに使用します。

㉘矢印キー　カーソルを矢印の方向に移動するときに使用します。

②キーに表示されている文字や記号の入力の方法&文字の大きさについて

★文字の大きさは全角と半角があります。

半角は全角のおおむね幅が半分です。

※ローマ字入力では、キーの左側に表示された文字や記号を使用します。
キーの右側は【かな入力】で使用します。ローマ字入力では入力できません。

（英字・数字の入力モード　字の大きさは半角です。

① そのまま押すと、左側下【e】が入力され【e】と表示されます。
（英字の下の表示は空白ですが、すべて英小文字です）

②シフトキー　SHIFT を押したまま、キーを押すと
左側上【E】が入力され【E】（半角大文字）で表示されます。

（ひらかなの入力モード　字の大きさは全角です）

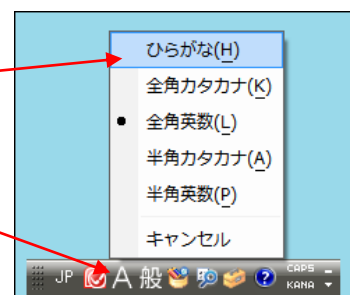
①そのまま押すと、【e】が入力され【え】と表示されます。
エンターキーを押して確定します。（下線の点線が消えます）

②【シフトキー　SHIFT】を押したまま、キーを押すと、
入力モードが【A】（全角英数）に変わり、
左側上の【E】が入力され【E】（全角大文字）で表示されます。

③　エンターキーを押して【E】を確定します。（下線の点線が消えます）

④入力モードは元の【あ】に戻ります。

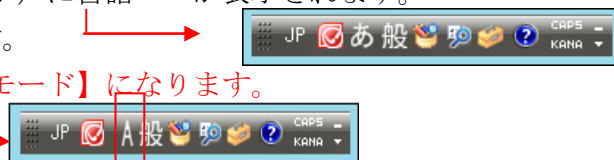
★④の操作で【A】（全角英数）から【あ】の入力モードに、戻らない場合や
半角/全角キーで、入力モードが【A】/【A】のように、
【A】と【あ】がうまく切り替わらない場合、

入力モードボタンをクリックして、
ひらがなをクリックします。
入力モードが【あ】になります。
以後通常通り切り替わります。

③半角英数字を入力しましょう

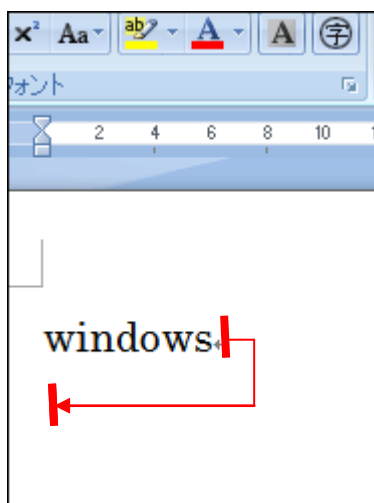
★ワードが起動すると右下（またはタスクバーのなか）に言語バーが表示されます。

★半角/全角キーを押して日本語入力をオフにします。

入力モードは半角英数字が入力できる【半角英数モード】になります。

ワード 2003 以降は【半角英数モード】

ワード 2003 以前は【直接入力モード】と呼ばれています（ローマ字入力では、半角英数と同じです）

入力モードが【A】になっていま

☆【windows】と半角英字（小文字）で入力しましょう。

①カーソルが、左端でピコピコしていることを確認します。
（この位置へ文字は入力されます）

②キーボードから

【W】【I】【N】【D】【O】【W】【S】

とキーを押します。（英字の小文字で入力されます）

③文字が入力されてカーソルが文字の右に移動しました。

④改行します---->エンターキー【ENTER】 を押します。
カーソルが下の行に移動して改行されました。
カーソルを元に戻す場合は、
バックスペースキー【BACK SPACE】キーを押します。

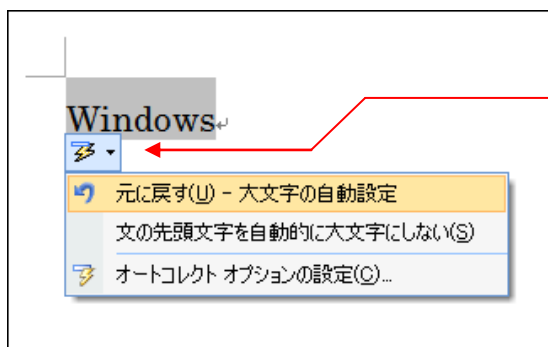
⑤先頭が大文字になった場合は、小文字に戻しましょう。

☆次の行に、【you】と入力しましょう。

※文字の見にくい方は、文字サイズを 16 ポイント以上に変更しましょう。

参考

※改行したとき先頭の【w】が大文字の【W】に変わる場合があります。
これはオートコレクト機能（自動で正しくする機能）が働き、
【先頭の英字を大文字に変更する】ためです。（初期設定）

元の小文字に戻すには

①Windows の文字にマウスポインターを合わせます。

②オートコレクトオプションのタグが表示されます。

③▼をクリックして表示されるメニューから
選択します。（ここでは、元に戻すを選択します）
（Word2003 からの新機能です）

④半角英数字の大文字入力

☆【WINDOWS】と半角英字（大文字）で入力してみましょう。

キーボードから シフト SHIFT キー を押したまま

【W】【I】【N】【D】【O】【W】【S】とキーを押します。

キーの左上にある文字や記号を入力する場合は、
シフト キーを押したまま、キーを押します
（英字の小文字は左下ですが刻印がされていないだけです）

シフトキーを押さないでキーを押すと左下の文字や記号が入ります。

windows
you
WINDOWS
YOU
aiueo kakikukeko 123
AIUEO KAKIKUKEKO 123

☆【YOU】と入力しましょう。

練習

（スペース（半角）の挿入はそのままスペースキーを押します）

aiueo kakikukeko 1234 （半角英数字　小文字）

AIUEO KAKIKUKEKO 1234 （半角英数字　大文字
数字は大文字・小文字の区分はありません）

（１行あけて改行しておきましょう。（エンターキーを２回押します））

参考

※赤色や緑色の波線

文法上の誤りや誤字脱字などが自動的にチェックされるため、誤っている
可能性がある個所に、赤色や緑色の波線が表示されることがあります。
これらの波線はプリントされません。
表示された場合は注意しましょう。

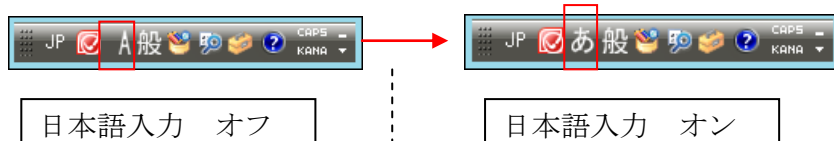
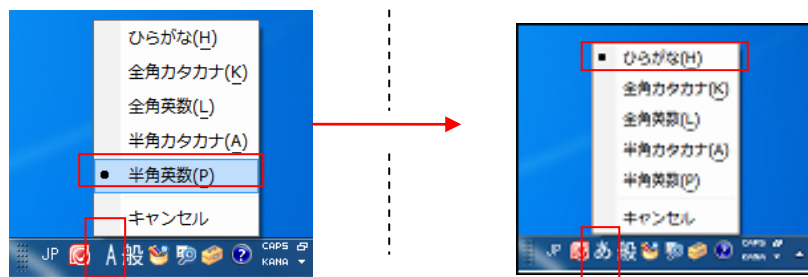
例

windows ---＞Windows　　Mausu---＞Mouse

書いてている----＞書いている
書いてる--------＞書いている

次に日本語入力に移ります。

⑤日本語（ひらがな・漢字）の入力準備

①半角/全角キーを押して日本語入力をオンにします（日本語が入力できる状態になります）

----＞入力モードが【半角英数】から【ひらがな】に変わります

※入力モードとは、キーボードから入力する文字の種類を指定するものです。

初期設定では【日本語入力オフ】の場合【A】の表示

--＞【半角英数】（2003 以前は直接入力の表示です）

【日本語入力オン】の場合【あ】の表示--＞【ひらがな】です。

入力モードは上の 5 種類です。（ワード 2003 以前は、ほかに直接入力があります）

【A】または【あ】をクリックして表示されたメニューから

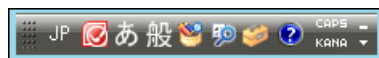
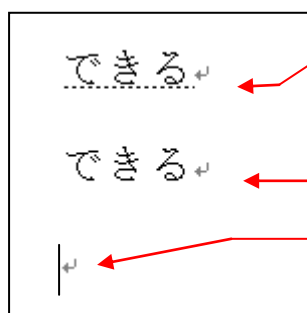
任意の入力モードをクリックして切り替えることができます。

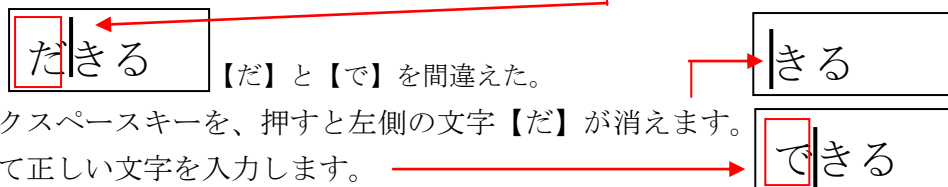
この講座は、【ローマ字入力】で行います

（キーに表示されている英字を使い、ローマ字のつづりで入力します）

⑥ひらがなを入力しましょう

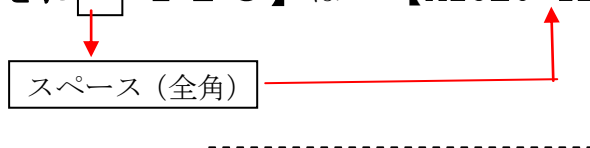
★半角/全角キーを押して、入力モードを【日本語入力オン】【あ】の表示にします。

ローマ字一覧表を参考にしてひらがなをローマ字のつづりで入力しましょう

①【できる】　は【DEKIRU】と入力します。

※入力を間違えた場合は、間違えた文字の後ろにカーソルを移動します。
（クリック、または矢印キーを使用して移動します）

バックスペースキーを、押すと左側の文字【だ】が消えます。
改めて正しい文字を入力します。

※【ひらがなモード】で入力した文字や数字・記号は、全角の大きさで入力されます。

練習

【おかやま】

----

② **【れんあい】**は　**【RENNAI】**と入力します。

【ん】の入力は【N】キーを２回押します。

※【れんあい】をそのまま【RENAI】と入力すると【れない】とパソコンでは判断します。

練習　　【れんあい】の次へ、スペースで区切って、横に入力しましょう

【でんき】　　**【もくれん】**　　**【しんあい】**　（改行します）

----

③ **【かった】**は　**【KATTA】**と入力します。

小さい**【っ】**の入力は【っ】の後の子音【T】(AIUEO 以外）のキーを続けて２回押します。

【はっき】は　**【HAKKI】**と入力します。

練習

【やった】　　**【かっぱ】**

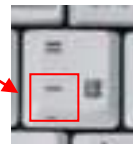
※小さいひらがな**【っゃゅょぁぃぅぇぉ　ヵヶ**（ヵ・ヶは、カタカナのみです）**】**

最初に【L】または【X】を押します。
続けて、それぞれの文字を押します（【っ】も同様に入力できます）
【っ】【LTU】　　【ゃ】【LYA】　　【ヵ】【LKA】

----

④【こーと】は　【KO―TO】と入力します。

【めーる】は　【ME―RU】と入力します。

【ー】長音（ちょうおん）

【ー】音をのばす時に使う長音記号は、【 - 】ハイフンや【―】ダッシュなど見た目には同じように見えます。

長音やダッシュについて

ダッシュ　　文と文の間、字句と字句の間に
使用され、時間の経過を表します。
～（から）は、波ダッシュです。
ハイフン　　電話番号や住所の区切りとして使用。
複数の単語を１単語として扱う場合。
マイナス　　引く記号　。
長音　　長く伸ばす音をあらわします。

1	ー	[全]長音
2	―	[全]ダッシュ
3	−	[全]マイナス
4	‐	[全]ハイフン
5	￣	オーバーライン，[論理]否定
6	～	[全]波形
7	-	[半]ハイフン，マイナス

---

⑤【また、あした。】は【MATA、ASITA。】と入力します。
【とうきょう・おかやま・】　は【TOUKYOU・OKAYAMA・】と入力します。

句読点【、】【。】と中黒【・】の入力（例外）

【、】【。】はキーの右上に表示されていますが、
【あ】入力モードで、そのままキーを押すと
右上に表示されたテン、マル、ナカグロが入力されます。

※左下の【,】【.】【/】は
入力モード【A】で入力できます。

---

⑥　【やまだ□たろう】　【YAMADA スペースキー TAROU】

※【やまだ】でエンターキーを押し確定します。
全角のスペース（空白）を入れる。続いて【たろう】と入力します
【あ】モードでは全角スペース　【A】モードでは半角のスペースが入力されます。

練習

皆様の【苗　字□名　前】苗字と名前の後に全角スペースを入れてください。

皆様の【苗　字▯名　前】苗字と名前の後に半角スペースを入れてください。

※【やまだ】でエンターキーを押し確定します。入力モードを【A】にして
半角のスペース（空白）を入れます。次に、入力モードを【あ】にして【たろう】と入力します
（１行あけて改行しておきましょう。）

キーに表示されていますが入力できない記号があります

ワード 2002 以降

￥が入力されます

ここまでの練習です。あと少しがんばりましょう

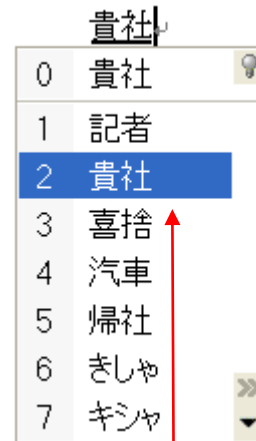
windows
you
WINDOWS
YOU
aiueo kakikukeko 123
AIUEO KAKIKUKEKO 123

できる
おかやま
あいうえお　１２３
れんあい　でんき　もくれん　しんあい
かった　はっき　やった　かっぱ
こーと　めーる
また、あした。　とうきょう・おかやま・
やまだ　たろう　うらしま　たろう　うらしま たろう

⑦漢字の入力

【貴社】と入力しましょう。

①【きしゃ】は　【KISYA】と入力します。
②【きしゃ】と表示されます。
③スペースキーを押します（点線が実線に変わります）

④【貴社】と表示された場合はエンターキーを押して
　確定します。（下線が消えて確定します）

④他の字が表示された場合は、再度スペースキーを
　押します（漢字の候補が表示されます）
⑤スペースキーを何度か押し目的の漢字が、ブルーに表示されると
　エンターキーを押して確定します

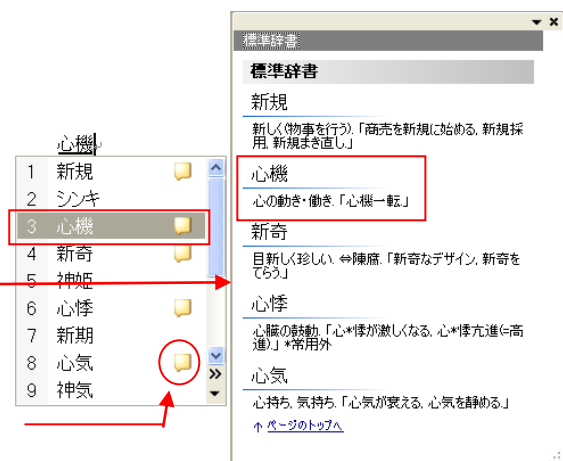
（改行します）

【心機】と入力しましょう。

①【しんき】は　【SINNKI】と入力します。

②以降は上記の貴社と同じ操作です。

（改行します）

※間違いやすい単語には意味や使い方が
　表示されます。（吹き出しマークが付いています）

※変換候補は、良く使う順に並べられて使用する人の PC により違います。（学習機能）

練習

【貴社】の【記者】は【汽車】で【帰社】した。

【きしゃの】【きしゃは】【きしゃで】【きしゃした】【。】
　で変換して文章にしてください。

青い|空に|浮かんだ|白い雲
今日は|医者に|行く
今日|歯医者に|行く

【きょうはいしゃにいく】と入力して変換すると、うまく変換されないことがあります。

赤い線で区切り、変換してください。（文節変換といい、変換違いがなく効率的です）

（１行あけて改行しておきましょう。）

⑧カタカナの入力

【コンピューター】と入力しましょう。

①【こんぴゅーたー】は【KONNPYU―TA―】　（―は【ほのキー】）と入力します。

②スペースキーを押して変換します。

③【コンピューター　】と下線が付いて表示されます。

④エンターキーを押して確定します。
（下線が消えて確定します）

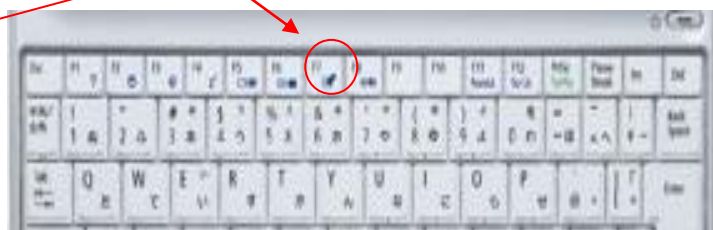
外来語など通常使われている
単語はスペースキーでカタカナに
変換できます。

【あかさたな】と入力しましょう。

①【あかさたな】は【AKASATANA】と入力します。

②スペースキーを押して変換します。
うまく変換候補が見当たりません。このような時や、
ひらがなの文章をカタカナに変換する場合など、スペースキーで変換できない場合は、
【ファンクションキー】を使用します。

※スペースキーで変換できない場合は、
ファンクションキーの【F７】キーを押します。（全角カタカナに変換されます）
次にエンターキーを押して確定します。

あかさたな---＞F7キーを押します
アカサタナ----＞エンターキーを押します
アカサタナ-----＞変換されました

練習

（スペースで区切って、横に入力しましょう）

【コスモス】　【クロネコヤマト】

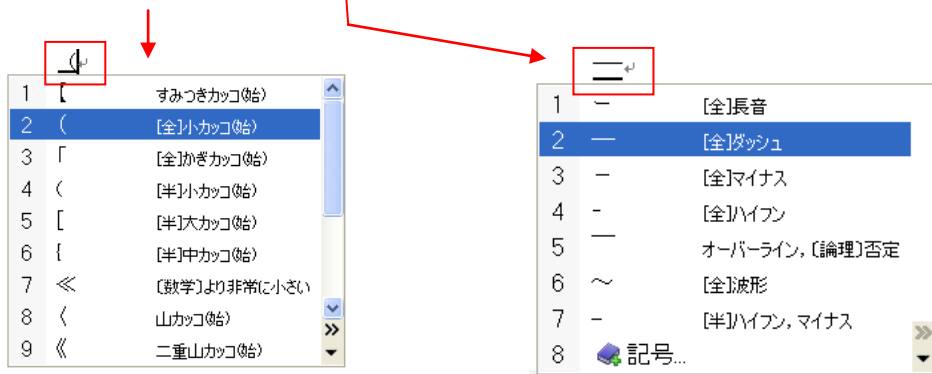
【お名前をカタカナに変換しましょう】（F7キーを使用してください）

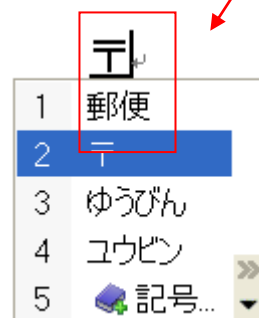
（１行あけて改行しておきましょう。）

⑨記号の入力

①文字を入力するのと同じように、キーボードから記号を直接入力してます。
　入力した記号は類似の記号に変換できます。

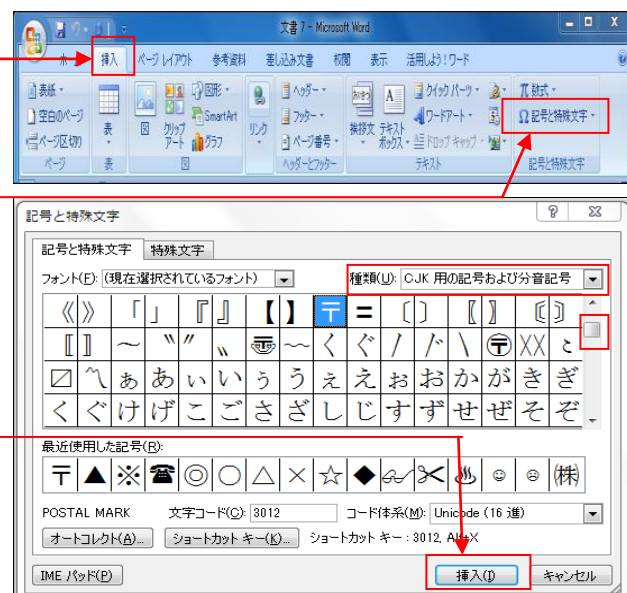
（スペースで区切って、横に入力しましょう）

【（　】カッコや【－】ハイフンの記号を変換してみましょう。

③【ひらがな】で、入力して記号に変換する方法
　【きごう】と入力して変換---->さまざまな記号に変換できます。（○を選択しましょう）
　【ゆうびん】と入力して変換--->〒に変換できます

練習

【ほし】	★☆	【から】	～
【やじるし】	→↑	【でんわ】	℡

参考

★もっと多くの記号や特殊文字を見つけるには
①挿入タブをクリックします。
②リボンの【記号と特殊文字】をクリックします。
③その他の記号をクリックします。
④スクロールバーや種類を変更して、挿入する記号を
　探し、選択します。　【挿入】をクリックします。
⑤カーソルの位置に記号が挿入されます。

その他

文字	例	入力文字『あ』ﾓｰﾄﾞ		文字	例	入力文字『あ』ﾓｰﾄﾞ
お	起きる	OKIRU		じ	時間	ZIKAN
を	花を	HANAWO		ぢ	鼻血	HANADI
					縮む	TIDIMU
ず	鈴虫	SUZUMUSI				
づ	続く	TUDUKU				
	三日月	MIKADUKI				

８文字の削除と挿入

★文字の削除と挿入

☆確定前（点線の下線が表示されていて、確定前と分かります）

【きよううら】を【きょうから】に訂正しましょう。

きょううら　①【う】の後ろへカーソルを移動します

きょうら　②バックスペースキーを１回押します
（カーソルの左の文字が削除されます。）

③【う】が削除されます。

きょうから　④そのまま【か】と入力します

今日から　⑤漢字に変換するにはスペースキーを押します

今日から　⑥確定するには、エンターキーを押します。
下線が消えて、文字が確定されます）

☆確定後の文字の削除と挿入

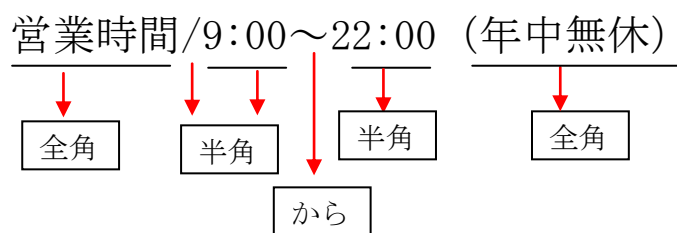
【今日から旅行に行きます。】を【今日から京都に行きます。】に訂正しましょう。

①【旅行】の後ろへカーソルを移動します。

②バックスペースキーを押して【旅行】を削除します

③【きょうと】と入力して、スペースキーを押して漢字に変換します。

④エンターキーを押して、確定します。

練習

【/】スラシュ（半角）は　入力モード【A】で入力します。
入力モード【あ】では【・】中黒が入力されます。

参考
【／】スラシュ（全角）は入力モード【Ａ】（全角英数）に切り替えます。

ここまでの練習です。お疲れ様でした

windows
you
WINDOWS
YOU
aiueo kakikukeko 123
AIUEO KAKIKUKEKO 123

できる
おかやま
あいうえお　１２３
れんあい　でんき　もくれん　しんあい
かった　はっき　やった　かっぱ
こーと　めーる
また、あした。　とうきょう・おかやま・
やまだ　たろう　うらしま　たろう　うらしま たろう

貴社
心機
貴社の記者は汽車で帰社した。
青い空に浮かんだ白い雲。
今日は医者に行く
今日歯医者に行く

コンピューター
アカサタナ
コスモス　クロネコヤマト　ウラシマ　タロウ

（　-　○　〒　★　☆　→　↑　℡　～

今日から旅行に行きます。
今日から京都に行きます。

営業時間/9:00～22:00（年中無休）

9ファイルを保存しましょう

☆ワードで作成したファイルをここでは、皆様の姓を名前として、ハードディスク内のフォルダー【マイドキュメント】に保存しましょう。

①保存するファイルを開きます

②オフィスボタンをクリックします。--->

【名前を付けて保存】にマウスポインターを合わせます。

③ここでは、word97-2003 文書を選択（任意です）

④名前を付けて保存のダイアログボックスが表示されます。

⑤保存先を選択します。

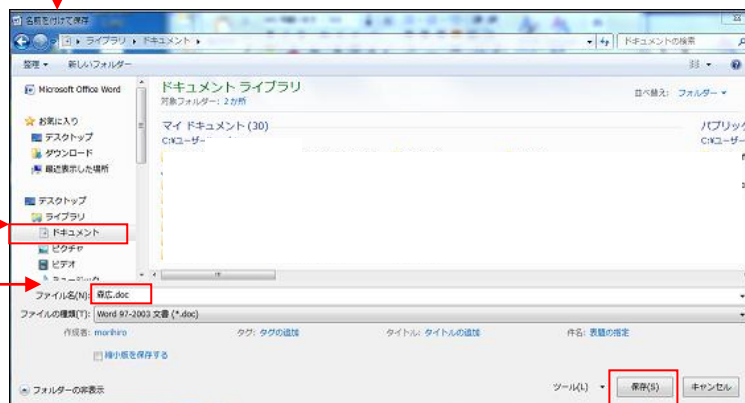
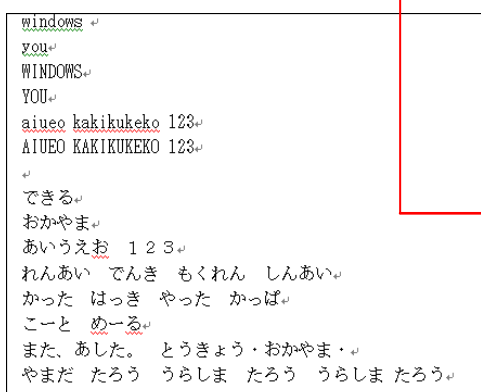
Ｗ７は--->ライブラリーの【ドキュメント】をクリックします。

Visuta--->ホルダー一覧から【ドキュメント】をクリックします。

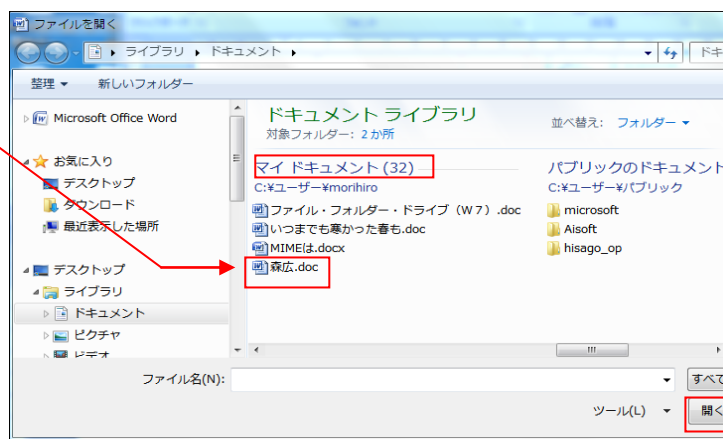
⑥ファイル名をここでは【皆様の姓】とします。

⑦【保存】をクリックします。（ドキュメントの中のマイドキュメントに保存されます）

windows
you
WINDOWS
YOU
aiueo kakikukeko 123
AIUEO KAKIKUKEKO 123

できる
おかやま
あいうえお　１２３
れんあい　でんき　もくれん　しんあい
かった　はっき　やった　かっぱ
こーと　めーる
また、あした。　とうきょう・おかやま・
やまだ　たろう　うらしま　たろう　うらしま たろう

☆保存したファイルを開く場合は、マイドキュメントに保存されたファイルをダブルクリックします。

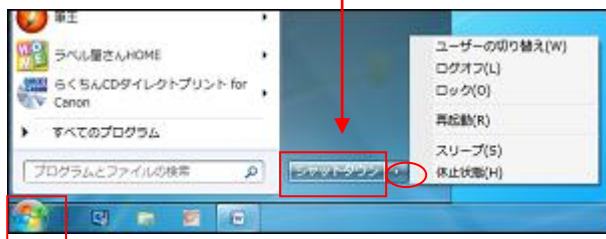
☆削除する場合はファイルを選択して、デリートキーを押します。

--->ゴミ箱へ移しますか？-->はい　をクリックします。

マイドキュメントに保存されています

10電源を切りましょう

パソコンはの内部では多くの機能が働いています。
パソコンを起動するときには順に、プログラムを起動して時間がかかったように、終了するときは逆順に終了する　ことが必要です。
そのため電源を、いきなり切って終了することは、避けてください。（故障の原因になります）

★ワードを終了しましょう

①表示しているソフトや作成中のファイルは保存します。
　開いているウィンドウを閉じます。（保存しないファイルは失われます）
②タスクバーに最小化している、ソフトやファイルも同様に閉じます。
③【スタートボタン】をクリックします。
④シャットダウンをクリックします。
　（シャットダウン右の▼をクリックすると、ほかのメニューが表示されます）
　★ビスタは鍵マーク横の▼をクロックメニューからシャットダウンをクリックします。
　　電源ボタンをクリックするとスリープモードになります）

Windows 7

vista

終了の種類

☆電源を切る（シャットダウン）
　Windows を完全に終了し安全に電源を切ります（電源は自動で切れます）

☆休止状態
　現在のデスクトップの状況を保存して、PC の電源を切ります。（①②の操作は不要です）
　（次回起動したとき保存した状況が復元されて、すぐ作業ができますがスリープより遅い）
　バッテリーは消費しません。データーはハードディスクに保存されます。

☆スリープ(Vista)
　現在のデスクトップの状況を保存して、PC の電源を切ります。（①②の操作は不要です）
　休止より高速で起動します。バッテリーはわずかに消費します。
　データーはハードディスクに保存されていません。
　スリープ状態で、バテリーが切れるとデーターは消失します。
　一定時間経過後には休止状態になります。

☆再起動
　電源を切らずに、windows を再起動します。
　PC が不調または、インターネットや電子メールの操作が誤作動する。
　その他、気になる場合は再起動で復調する場合があります。

☆スタンバイ（XP）Vistan のスリープと同じです。
　但し休止状態にはなりません。バテリーが切れるとデーターは消失します。

入力練習用問題

練習問題　ひらがな用

【あいうえお　】　【いえあおう】　【あいおい】【こくせき】【くさき】

【せいそう】【きかい】【ちかく】　【たたかい】【はたち】【はち】

【ふな】　【やもり】【やまいも】【もののけ】【もやし】【　ろうそく】

【まよいみち】【あめあられ】【カメラ】　【ロウソク】　【せんめんき】

【れんらくせん】【がんたん】【がくねん】　【ぎょうかい　】

【もくぎょ】【でんでんむし】【たまごぞうすい】【だいがく】

【つつじ】【ブラジル】【プリン】【ぱぴぷぺぽ】　【ヴィラ】

【かっぱ】　【ほっかいどう】【ティッシュ】　【チェック】

【ちょうちょ】【チャック】　【ヴァイオリン】【とっきゅう】

【ねつききゅう】【スタート】　【オーディオ】【そうじゃし】

【ビーチバレー】【きゅうきゅうしゃ】

練習問題　総合

【春が来た】【正確に入力する。】【鈴虫が鳴く】【気付く(きづく)】【本末転倒(ほんまつてんとう)】

【デジタル家電】【トラブル解消法】【夕日が、きれいだ。】【焼肉定食】

【ビタミンCは、体にいい。】【祇園精舎(ぎおんしょうじゃ)の鐘の声】【９月１５日（日)】

【続く(つづく)】【うらじゃ祭りで、全品 20%OFF！】20%OFF は半角英数字

【通り】【TEL(086)−(275)−(1234)　】-->全て半角で入力してください。

【神無月(かんなづき)】【〒703−4567】--->郵便は記号・数字は半角数字で入力してください。

【花を買う】【体重が 5kg 痩せました。】5kg は半角英数字

【縮む(ちぢむ）)】【山陽新聞】【馬耳東風(ばじとうふう)】【★(ほし)】【　%(ぱーせんと)　】【　@(あっとまーく)　】

【お疲れさまでした。文字入力は、もう大丈夫です。】

参　考　資　料

パソコンの扱いに慣れた方は、参考にしてください
またインターネットのホームページからも、参考になる資料がご覧いただけます。

【楽しくはじめるパソコン教室】のホームページ
http://www.geocities.jp/takashimapc/

講座関連のテキストは、【岡山もりさんの講座テキスト】
http://www.geocities.jp/mori3ml/

１言語バーについて

言語バーには文字を入力するため、ＩＭＥ（日本語入力システム）のさまざまな機能があります。

①入力モードの切り替

ひらかな・英数字・など入力方法を切り替えします

②【変換モード】

通常は一般を使用しますが、人名・地名・話し言葉

などに切り替えることができます

③【IME パッド】

手書きや画数・部首で入力する漢字を探します。

④【ツール】

漢字や用語の登録ができます

⑤【ヘルプ】

言語バーの取扱説明

⑥【CAPS】

アルファベットを大文字で入力します

⑦【KANA】

【ローマ字入力】を【ひらがな入力】に切り替えます。

⑧【最小化ボタン】

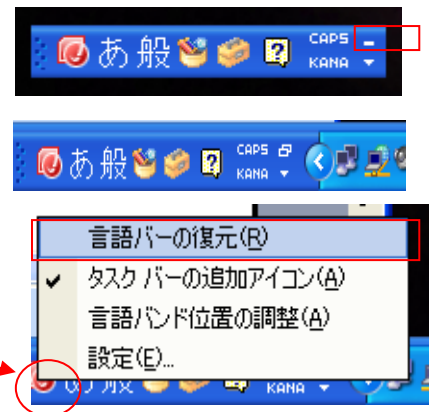
⑨【オプションボタン】

さまざまな機能の設定ができます

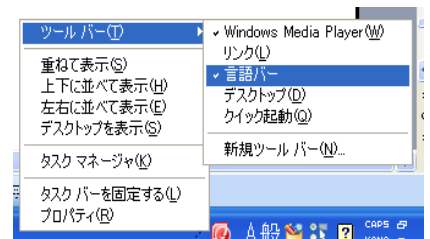
２言語バーが消えた。復元する方法

言語バーが見当たらない場合は次の原因と復元の方法があります。

①言語バーの右上の最小化ボタンを押してタスクトレイに入ってしまった。（デスクトップ画面に出したい時）

★言語アイコンを右クリックして、表示されたメニューから【言語バーの復元】をクリックします。

②タスクバーから言語バーを削除した場合（デスクトップ上どこにもありません）

★タスクバーの何もないところを右クリックします

表示されたメニューから、【ツール】--->【言語バー】とクリックします。

③　①や②で復元できない場合は

ウィンドウズ 2000 以降　　98 はできません

★【スタート】ボタンをクリック--->【設定】---->コントロールパネルと進みます。

【テキストサービス】をダブルクリック---->

【設定タブ】から、基本設定の【言語バー】をクリックします。

言語バーの設定ダイアログから【言語バーをデスクトップ上に表示する】に チェックを入れます。

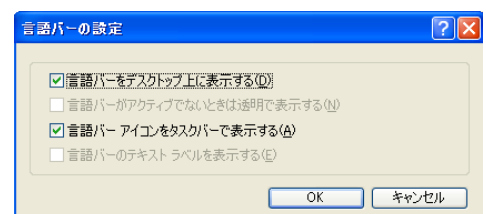
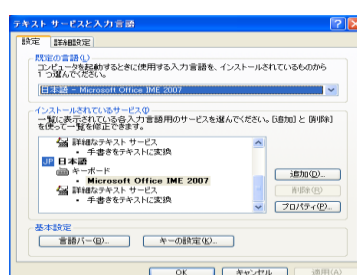
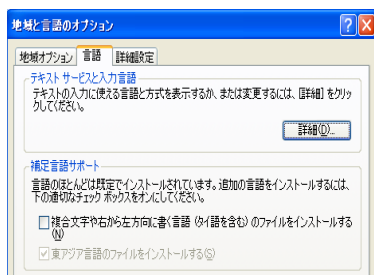
ＯＫ

ウィンドウズ XP

★【スタート】ボタンをクリック--->コントロールパネルと進みます。

【地域と言語のオプション】をダブルクリック---->【言語タブ】のテキストサービスと入力言語の項で【詳細】をクリックします。

基本設定の【言語バー】をクリックします。

言語バーの設定ダイアログから【言語バーをデスクトップ上に表示する】にチェックしＯＫ

W7 & Vista

★【コントロールパネル】--->【地域と言語のオプション】をダブルクリック

--->【キーボードと言語】タブから【キーボードの変更】

テキストサービスと入力言語より【言語バー】タブをクリック

【言語バーアイコンをタスクバーで表示する。】 にチェックして　OK　OK

３ファイル・フォルダー＆ドライブについて

パソコンでは、文書、音楽、写真、図形、グラフ、音声など多くの情報が作成されたり、
インターネットや CD などのメディア（媒体）からパソコンに取り込まれたりします。
それらはすべてパソコンでは、ファイル（書類）として扱われます。
パソコンでは、綴じられるもの（書類）のことをファイルと言います。

【ファイル＝書類と覚えてください。】

ファイルは文書も、音楽や写真も同じ様にすべて書類として扱われます、そのため何のファイルか分かるように
必ず名前（ファイル名）をつけなくてはいけません。

またファイルを作成したソフトにより
ファイルの種類を表す
拡張子がファイル名の最後に、自動で付きます

【フォルダーはファイル（書類）を入れる入れ物です。】

パソコンには、関連のあるファイルを整理、整頓して保存するフォルダー(入れ物)
が、あらかじめ用意されています。
また任意に、作成することもできます。

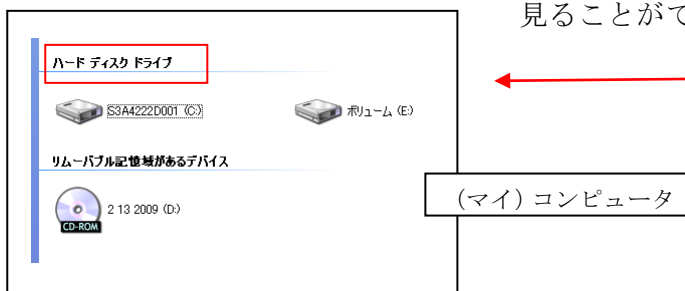
- ✧ 文書を保存するフォルダー----->マイドキュメント
- ✧ 画像を保存するフォルダー---->マイピクチャー
- ✧ 音楽を保存するフォルダー---->マイミュージック
- ✧ 一時的に保存できる作業場--->デスクトップ　などです。

ご自分も含めてすべての人が共有するパブリックファルダーが別にそれぞれあります。（Ｗ７）

【ファイルやフォルダーの記録はどこに？】

ファイル（データー）を記録したり、呼び出したりする装置をドライブと言います。
パソコンにはＨＤＤ（**ハード　ディスク　ドライブ**）が内蔵されていて、そこに記憶されます。

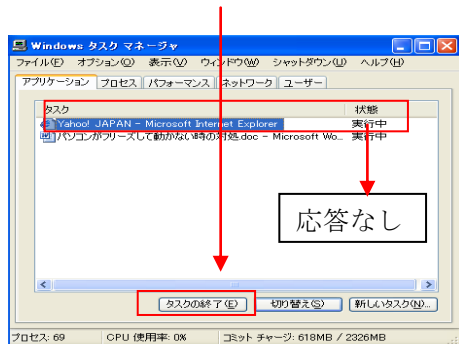
ドライブは最近では、C・D・E・F・などに分かれています。
主にファイルが保存されるのは C ドライブです。

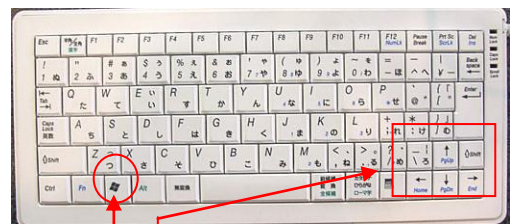
ドライブの内容は、マイコンピューターをクリック（開いて）して
見ることができます

パソコンがフリーズして動かない時の対処

パソコンを使用している時に、マウスポインターが動かなくなり次の操作ができなくなることがあります。(フリーズした。　固まった。　と言われます) このような場合は、
3 通りの修復の方法があります。
①から順に試してください。(表示画面は機種によって少し違います)

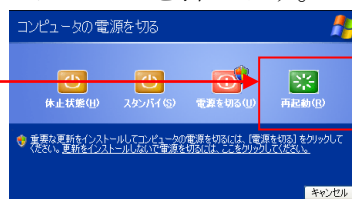
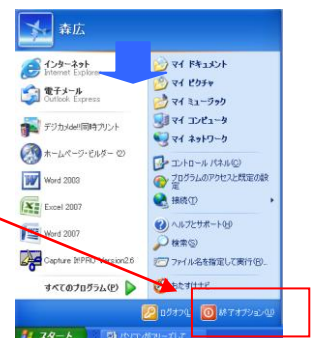
①フリーズしたアプリケーション（ソフト）を終了します。

CTRL キーと ALT キーを押したままで DEL キーを押します。(３個のキーが同時に押されます)

タスクマネージャーの画面で表示されている【応答なし】のアプリケーション（ソフト）が現在フリーズしているアプリケーション（ソフト）であることを確認してください。
次に、ソフト選択して【タスクの終了】--->次の画面で【すぐに終了】をクリックします。

フリーズした画面が終了できれば　ＯＫです。

☆同じことがまた起きる可能性があります。
すぐに再起動することをお勧めします。

②再起動して修復します。

フリーズしてマウスポインターが動かない時は。

①ウィンドウズキーを押します
②スタートメニューが表示されます
③矢印キーを押して、ブルーの表示でメニューの選択ができます。(上下左右に移動できます)
④終了オプションを選択してエンターキーを押します
⑤コンピューターの電源を切るダイアログボックスから矢印きーを押して再起動を選択しエンターキーを押します。

再起動されてウィンドウズが起動した状態になります。

③電源を強制的に切ります。

電源マークを長押しします（時間はメーカーで差がありますが画面が消えるまで押す)。
次に電源を入れるには１０秒以上あけて電源を入れます。
頻繁に操作すると、ハードディスク（パソコンの心臓部）が破壊されることがあります
出来るだけ①②の方法で修復して下さい。

※インターネットなどで調子が悪くなった場合は、フリーズしなくても再起動すると良くなることが多いです。あれこれ操作をする前に試してみましょう

ローマ字入力一覧表

静音の入力

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI	SU	SU	SO
	SHI			
た	ち	つ	て	と
TA	TI	TU	TE	TO
	CHI	TSU		
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU	HE	HO
		FU		
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や	い	ゆ	いぇ	よ
YA	YI	YU	YE	YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	うぃ	う	うぇ	を
WA	WE	WU	WE	WO
	(ゐ)		(ゑ)	
	(ヰ)		(ヱ)	
ん				
NN				

濁音・半濁音の入力

が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
だ	じ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO

小文字の入力

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA	LI	LU	LE	LO
ヵ			ヶ	
LKA			LKE	
		っ		
		LTU		
ゃ	ぃ	ゅ	ぇ	ょ
LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ゎ				
LWA	(LはXでもよい)			

拗音の入力

うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
WHA	WHI		WHE	WHO
きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
QWA	QWI	QWU	QWE	QWO
くゃ		くゅ		くょ
QYA		QYU		QYO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
SHA		SHU	SHE	SHO
すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ
SWA	SWI	SWU	SWE	SWO
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
CHA		CHU	CHE	CHO
CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
どぁ	どぃ	とぅ	とぇ	とぉ
DWA	DWI	DWU	DWE	DWO
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO

拗音の入力

ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふゃ		ふゅ		ふょ
FYA		FYU		FYO
ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ
FWA	FWI	FWU	FEW	FWO
FA	FI		FE	FO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
JA		JU	JE	JO
JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
VA	VI	VU	VE	VO
ヴャ	ヴィ	ヴュ	ヴェ	ヴョ
VYA	VYI	VYU	VYE	VYO